



令和3年の終わりと令和4年の始まり



令和4年、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年は年末寒波で寒い年越しとなりましたが、新年早々もその寒波の影響で寒さが続くようです。まだまだ寒い状況が続く予報となりますが、体調管理には十分お気を付け頂けたらと思います。

令和3年は1年を通して、令和2年からの新型コロナの影響を受ける年であったと感じております。昨年2月頃から都市部でのまん延防止措置から始まり、それが非常事態宣言に移行し、その後地方へまん延防止措置と非常事態宣言へと移行が続きしました。その状況は9月末まで続きましたが、10月以降は全てが解除され、そこから少しずつ落ち着いた日常生活となってまいりました。飲食や旅行の方も少しずつ規制が緩和され、12月に入りますと飲食の時間制限もほぼなくなってまいりました。この新型コロナの影響によって、会社の方も売り上げに大きく影響を受ける形となりましたが、令和4年に向けての取組が行えた年であったと感じます。生産体制の整備や問題点の抽出で分かってきた部分もありました。令和4年も引き続き新型コロナの影響は出てくるものと感じておりますが、くれぐれも感染予防は継続して頂き、体調にはお気を付け頂けたらと思います。令和4年も会社の方は令和3年に立てた方針を継続して進めて行く事としております。新型コロナの影響でなかなかできなかった点を継続し、令和4年は計画達成となるよう取り組んで参りたいと思います。社員皆様が立てた計画・目標も令和4年は達成となるよう、今年1年間取り組んでいただくようよろしくお願いいたします。

それでは1年の始まりの月となりますが、1ヶ月間よろしくお願いいたします。



社長 太田 聡
 編集担当：島

ポカミス防止策のポイント(第3回)

先月はポカミス防止策のポイントとして「3. 三現主義」について説明しました。第3回として、引き続きポカミス防止策のポイントを説明していきます。

4. 決めたことの実行(標準化→共有化→遵守)

標準作業や作業手順などの「決めたこと」が遵守されていないときは、小さなことだと放置したり、対策を徹底してとらなかつたりすると、大きなポカミスに結びついていきます。次のステップを踏んで遵守していない原因を追究することが大切です。

原因 追求 ステップ	①「決めたこと」を知っているのか、知らないのかを確認する
	②知らなければ、その狙い(目的)を教え、教育し、訓練する
	③知っていれば、今回だけか、いつもかを確認する
	④今回だけなら、守らないのか、守れないのかを確認する
	⑤いつもなら、守らないのか、守れないのかを確認する
	⑥同じ作業をしている別の作業者の状況を確認する

次回も、引き続きポカミス防止策のポイントを説明します。

デジタルフットプリント

「デジタルフットプリント」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。デジタルフットプリントとは、ソーシャルメディア(InstagramやTwitter)の投稿、オンライン決済の取引データ、位置情報の履歴、電子メールの送受信、作成したIDやアカウント、ウェブページの閲覧履歴など、インターネットを利用したときに残る記録の総称となります。

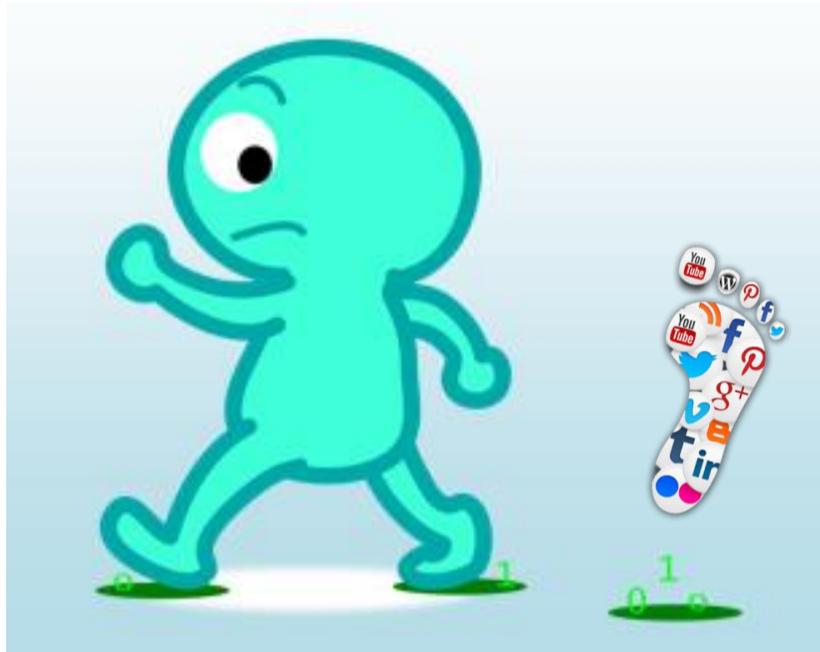
インターネット上におけるプライバシー設定やソーシャルメディア上での行動の仕方によっては、デジタルフットプリントが必要以上に収集され、あなたを特定することに使われてしまうこともあります。

大切なのは、ソーシャルメディアのアカウントのプライバシー設定を精査することです。自分のアカウントを閲覧できる人、どんな情報が閲覧できるのか、などです。また、シェア(投稿)する前にこの投稿をしたらどんな影響があるのか考えることも大切です。他人に悪影響を及ぼすことはないか、自分の個人情報に含まれていないかなどを投稿前に考えましょう。

過去には、有名人のInstagramアカウントを追跡していた窃盗犯が、その人の行動パターンを特定し、自宅へ盗みに入ったケースがあったようです。SNSの投稿からは、自分が思っている以上に多くの情報を収集できてしまいます。

デジタルフットプリントを削減するもうひとつの方法として、受信しているさまざまなメールマガジンの配信を停止することもお勧めです。これらのサービスやマーケットプレイスは、メールを使って商品やアプリ内購入を促すさまざまな値引き情報を配信してきます。さらに、これらのメールに関する情報は悪意のある攻撃者の手にわたる可能性もあります。

デジタルフットプリントを最小化する方法は他にもまだあるかと思えます。大変かもしれませんが、自分が使用しているツールの設定を一度見直し、デジタルフットプリントを適切に削除しましょう。おそらく、1回や2回程度しか使った経験のないECサイトや、ゲームなどがでてくるはずですが、労力に見合った効果が得られ、プライバシー保護に繋がります。



編集担当: 島

勤勉の象徴 ～二宮金次郎(尊徳)～

今月号からは、勤勉の象徴である二宮金次郎の「生き方」、「考え方」について学びます。

1787年、金次郎は栢山村(現在の神奈川県小田原市栢山)の裕福な家庭に生まれました。しかし、1791年の南関東を襲った暴風で、付近を流れる酒匂川の堤防が決壊し、金次郎の住む栢山一帯が濁流に押し流されてしまいました。その影響で所有田畑の大半や家を流出し、借財を抱えて家計は貧することになります。

金次郎が14歳の時に父を亡くし、16歳の時に母を亡くし、どん底に落ち込んでしまいます。その後、伯父の家に預けられるのですが、学問を学びたい金次郎は孔子の『大学』を入手します。仕事も終わった深夜に熱心に勉強をしていると「貴重な灯油を使う(灯りを点すため)とは何か!」と伯父に見つかって怒られてしまいました。普通の人ならここで勉強を諦めてしまいますが、金次郎は違いました。川岸の空き地にアブラナの種をまき、丹精込めて育て上げます。1年かけて、金次郎は自分の菜種油で灯りを点して勉強ができるようになりました。

自分の油を手にした金次郎ですが、これで堂々と勉強ができるかと思いきや、そうではありませんでした。

なんと伯父は「お前はうちに世話になっているのだから、お前の時間は俺のものだ!」と、深夜に勉強する事さえ許してくれなかったのです。昼は田畑の重労働、夜はわらじ織りなどの内職をする日々でしたが、金次郎の勉強時間は、干し草や薪を山に取りに行く往復の道中で行われるようになりました。この時の姿が、今も銅像などで残され語り継がれているものです。

20歳の時に伯父の家から独立した金次郎は、実家の再興に取り掛かり、24歳で以前のような裕福な家に再興しました。その才を買われて奉公した小田原藩士、服部家で「五常講」という金融互助制度をはじめ、財政の立て直しにも成功しています。

そのすぐれた発想と実践力が見込まれ、財政難に苦しむ藩主の財政再建・農村復興の仕事(報徳仕法)にまい進することになります。晩年には幕臣に取り立てられ、当時としては珍しい百姓から武士へ転身を遂げており、その際に名乗りを尊徳と定めています。

1856年、70歳でその生涯を終えるまで、報徳仕法の手ほどきを受け再興した地域は、600の村々に達したといわれています。

編集担当: 島

編集担当より

新型コロナウイルスの変異ウイルスである「オミクロン株」に対する警戒感が日増しに高まっています。南アフリカで流行している株が、デルタ株からオミクロン株へと急速に置き換わっているため、高い感染力の可能性が懸念されています。

気を付けるポイントとしては、従来通りマスクの正しい着用、手洗い、換気、三密の回避、ワクチンの接種となりますので、年末年始は注意して過ごしましょう。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004

静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地

TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898

URL:http://www.apollo-elec.co.jp

編集担当: 管理室

発行日 令和4年1月1日